環境

2025 Spring ● Vol. 399
www.kankyo.or.jp
公益財団法人 岡山県環境保全事業団

1974-2024

Okayama Prefectural Environmental Conservation Foundation,Inc.

#特集 50年。もっと先の未来へ。岡山県環境保全事業団 50年のあゆみ

#エコアクション21
二酸化炭素排出量99%削減に繋がった社員一人ひとりの意識を高める環境教育
来ハトメ工業株式会社

#NEXT STEP
地域の自然と人をつなぐ循環型農業の実践
株式会社エーゼログループ

#TOPICS
［岡山県環境保全事業団　総務部］
ウェルビーイングな職場づくり

#第11回 おかやま環境教育ミーティング開催！
世代・団体を超えてうまれた学びやつながりをご紹介

#自然いっぱい！イベントいっぱい！
自然保護センターへ来てみられぇ～

気になった内容をシェアしよう！ #環境 #わたしのエコアクション #50周年 #50年のあゆみ

＼自然いっぱい！イベントいっぱい！／

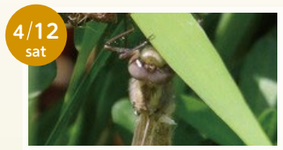
自然保護センターへ 来てみられぇ～

春の観察会案内

時間 10:00～12:00(9:50集合)
集合場所 センター棟他
参加方法 要予約 / どなたでも参加OK

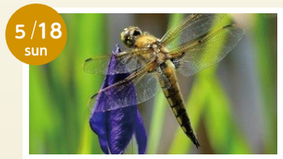
季節のさまざまな生きものを観察する「自然観察会」を開催！

4/12 sat



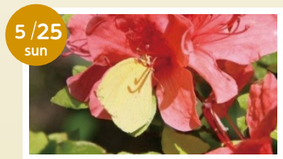
とんぼの羽化を観察しよう！
オグマサナエ、フタスジサナエなど、この時期に羽化する「とんぼ」の感動的な瞬間を観察しましょう！

5/18 sun



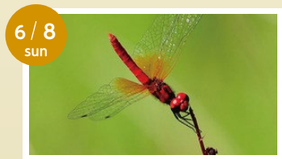
初夏のとんぼ観察
暖かくなって、池や原っぱでは「とんぼ」の仲間が次々増えてくる季節です。何種見つけることができるかな？

5/25 sun



チョウ博士になろう！～春を彩る蝶々を探せ！～
春に見られるチョウはどんな種類がいるんだろう？寒い季節を乗り越えた猛者や羽化した美しいチョウを見つけよう！

6/8 sun



日本一小さなとんぼ ハッチョウトンボ
国内最小!1円玉くらいの大きさの赤いトンボです。目を皿のようにして探してみましょう。

6/29 sun

カエル観察会
トノサマガエル、ツチガエル、いろいろなカエルを見つけましょう。

4月～6月のセンターで見られる自然を見つけに行こう！

オキナグサ

カワウ

ソメイヨシノ

カワトンボ

ササユリ

タンチョウ

ノウサギ

スミレ

クサガメ

イベントレポート 「どんぐり先生のクラフト展であそびましょ！」を開催しました。

2024年11月9日(土)～12月27日(金)の期間、企画展「どんぐり先生のクラフト展であそびましょ！」を開催しました。どんぐり先生ことボランティアの橋本さんが製作した、自然保護センターにしかないオリジナル遊具でたくさん遊べる展示です。ヒノキのウッドボールを使ったゴルフやスマートボール、玉入れ、ピラミッドなど簡単なものから難しいものまで、あらゆる遊具を楽しめました。小さなお子さんも遊べる遊具もあり、家族連れで楽しんでいただけるイベントとなりました。
また遊具ごとにポイントが設定されており、ポイントごとに景品がもらえる仕組みも大変好評をいただきました。ポイントを多く集めるほど景品がグレードアップし、参加者の皆様も夢中で楽しんでくださっていました。今後も、わくわくするようなイベントや展示などを開催してまいりますので、ぜひお越しください。

岡山県自然保護センター

☎0869-88-1190 〒709-0524 和気郡和気町田賀730
休所日／毎週火曜日及び祝日の翌日、年末年始
開所時間／9:00～16:30　入場料／無料
指定管理者(公財)岡山県環境保全事業団

その他イベント情報はWEBをチェック！
岡山県自然保護センター
https://okayama-shizenhogo-c.jp/

気になった内容をシェアしよう！ #岡山県自然保護センター #春の自然 #春の生き物 #春の観察会

発行元 公益財団法人 岡山県環境保全事業団
問い合せ先 〒701-0212 岡山市南区内尾665-1
☎ 086-298-1239 FAX. 086-298-2496
asueco@kankyo.or.jp

VEGETABLE OIL INK この印刷には環境にやさしい植物油インキを使用しています。
FSC ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C000000

岡山県知事 伊原木隆太様

倉敷市副市長 小松賢治様

設立50周年記念感謝のつどいを開催

2024年10月1日、設立50周年を記念した「感謝のつどい」を開催いたしました。自治体関係者、評議員、理事、監事、出捐団体をはじめとする関係者の皆さまをお迎えし、これまでの50年を振り返りながら、皆さまへの感謝の想いを改めてお伝えする場として企画しました。冒頭では、開会挨拶で理事長の吉田が、設立時の背景や、行政と連携しながら地域社会の環境保全に取り組んできた歴史についてお伝えしました。また、この50年で、環境調査や廃棄物処理、環境教育など、多岐にわたる事業を展開し、岡山県の産業振興や県民生活の安定に大きく貢献してきたことを紹介いたしました。

また、岡山県知事の伊原木隆太様、倉敷市副市長の小松賢治様からのご祝辞を賜り、多くの方々に支えられていることを改めて実感する機会となりました。事業団の職員は、キャッチフレーズ「50年。もっと先の未来へ。」のもと、地域社会の持続可能な発展のためにさらなる貢献をする決意を新たにしました。

記念座談会

「もっと先の未来」に向けて
～事業団のこれまでとこれから～

設立50周年という節目の年に、これまでの活動をよく知る幹部職員と事業団の将来を担う若手職員がこれまでの実績や将来に向けた展望を語り合いました。座談会で語られたトピックの一部をご紹介いたします。

和やかな雰囲気の中、事業団の50年の歩みと未来への展望についてそれぞれの熱い思いで盛り上がりました

これまでの実績

「事業活動に伴い発生する廃棄物を適正に処理すること」により岡山県の産業活動を支えてきた

環境アセスメント図書の精度には定評があり、自治体等からの信頼を得てきた

転機となった出来事

民間企業経験者が理事長に就任したことにより、経営に対する職員の意識に変化が生じた

埋立処分に加え、廃棄物の減量化・処分場の延命化・廃熱による発電を行うことができる本格的な中間処理事業を開始した

若手職員から見た事業団

「少数精鋭」の組織を維持していくために、若いときから一人ひとりが仕事に責任を持つことが大切である

「事業団のおかげで安心して仕事ができている」という感謝の言葉を地域の企業の方からいただくことがやりがい

次の50年後に向けた展望

サーキュラーエコノミーに向かう世の中の流れにおいても、廃棄物適正処分の核となる埋立処分場は今後も必要である

事業団がこれからも存続するためには、時代の変化に合わせてこれまでよりも早いペースで新たな事業を生み出していく必要がある

気になった内容をシェアしよう！　#岡山県環境保全事業団　#50年。もっと先の未来へ。　#50周年　#感謝のつどい

50年。もっと先の未来へ。
岡山県環境保全事業団 50年のあゆみ

岡山県環境保全事業団は、2024年に設立50周年を迎えました。今回は、事業団の50年のあゆみや、「感謝のつどい」の様子などをご紹介します。

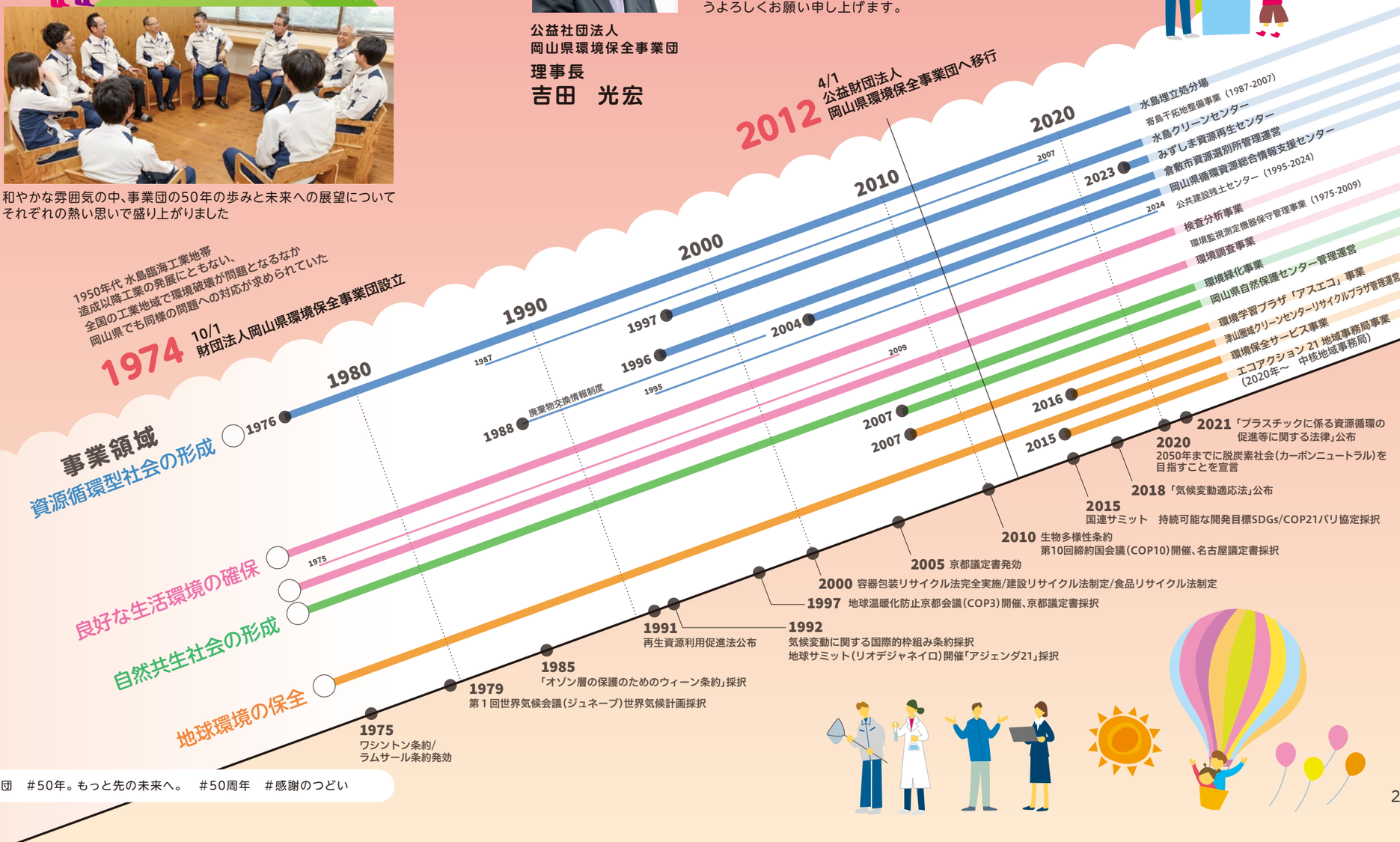
50周年にあたって

公益社団法人
岡山県環境保全事業団
理事長
吉田　光宏

岡山県環境保全事業団は、環境保全事業の幅広い実施による、より快適な地域社会の実現を目的として、1974年10月、県内の地方公共団体や企業等からの出捐により設立されました。以来、事業団では、廃棄物処理処分、環境調査分析などの事業を展開し、循環型社会の形成や地球温暖化防止に積極的に貢献してまいりました。

私ども事業団は、50年間の環境関連の幅広い事業経験と専門のノウハウを活かしながら、地域の環境課題の解決に総合的に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

皆様方には、事業団に対しまして何卒変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

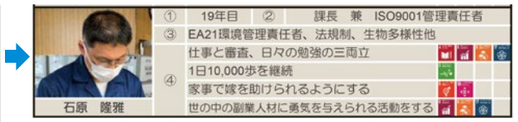


企業で取り組む環境経営

エコアクション21 vol.37

二酸化炭素排出量99%削減に繋がった社員一人ひとりの意識を高める環境教育

お話をお聞きしたのは
来ハトメ工業株式会社（らい）
管理部 課長
ISO9001 管理責任者
EA21 環境管理責任者
石原（いしはら） 隆雅（たかなり） さん



環境経営レポート内「私のSDGs」石原さんの表記見本

脱炭素チャレンジカップの「環境大臣賞グランプリ」や、「環境コミュニケーション大賞」など環境活動にまつわる賞を多数受賞

9月25日「脱炭素×SDGs×エコアクション21セミナー（主催：広島県）」で登壇された、来ハトメ工業株式会社の石原隆雅さんにお話を伺いました。講演内容も含め、前号ではエコアクション21（以下EA21）に取り組んだ成果や、取り組みを行うメリットについて、今号では実際の取組事例についてご紹介します。

―まずは、環境負荷低減に対する具体的な取り組みを教えてください。

二酸化炭素排出量を把握するために、排出状況の「見える化」をすすめた結果、重油使用が排出量の約50%を占めていると判明しました。それを受けて、重油を燃料とする洗浄機を電力式に入れ替え、さらに灯油暖房を廃止するなどの対策を講じた結果、二酸化炭素排出量99．2%の削減に繋がりました。

廃棄物の削減については、それまで一般廃棄物として処理していた古紙やビニールなどをリサイクル業者に売却する方法に変更しました。また、1回の使用で廃棄していたウエスを洗浄機で洗濯し再使用する運用に切り替えています。その結果、事業系一般廃棄物排出量は、EA21活動開始後2年間で約4トン削減することができました。

―それら結果につながる環境活動には、社員向けの「教育」が大きな要因だと伺いました。

社員向けの環境教育を年間40回実施しています。電力や古紙などの各担当者が企画や資料作成から行い、全社会議の場で5分程度の環境に関する講義を行います。「ダメ出ししない」という共通ルールを設け、全員が安心して主体的に取り組める環境を整えました。これにより社員全員の環境意識を高め、EA21への取組意識を浸透させることに役立っています。

―環境経営レポートにある「私のSDGs」がポイントと感じます。

全社員を対象とした「私のSDGs」に2017年から取り組んでいます。SDGsについて全社員に丁寧に説明した上で、目標を各自が設定し、1年後に取組成果を自己評価しています。社員それぞれが設定する取り組みの数も、スタート時に比べ年々増えてきました。

また、EA21での環境活動計画もSDGs対応版に変更しました。こうした取り組みについて、環境省から「SDGsに取り組んでいる中小企業は珍しい」と、当社の事例を紹介したいとの依頼も受けました。

―最後に、EA21認証事業者そして審査員の立場から、EA21をおすすめする理由を教えてください。

おすすめする理由は4つあります。①簡単かつ少ない負担で、あらゆる環境負荷低減に取り組めます。②環境関連の法規制に対する指導も受けられるので、法令を遵守する社内体制を構築できます。③EA21を認証した後もセミナー等が充実しています。④EA21による交流を通じ自然と仲間が増えます。

結果として多数の賞をいただいたり、講演や取材依頼も増えたりと会社の知名度も上がり、企業価値向上にも繋がりました。皆様も是非EA21に取り組んでいただければと思います。

来ハトメ工業株式会社

所在地 〒340-0822 埼玉県八潮市大瀬203-1
従業員数 33名 認証・登録日 2010年9月
1946年からアルミに特化した金属プレス加工業を営む。
脱炭素やSDGsなど環境活動にも積極的に取り組む。

［エコアクション21］ 環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証し登録する制度です。

［エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団］
〒701-0212 岡山市南区内尾665-1 Tel 086-298-1239 Fax 086-298-2496
Mail ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp
Facebook https://www.facebook.com/ecoaction21/

気になった内容をシェアしよう！ #来ハトメ工業 #エコアクション21 #社内環境教育 #見える化

次の世代に続く エコロジーな活動

NEXT STEP

地域の自然と人をつなぐ循環型農業の実践

株式会社エーゼログループ
西粟倉森の学校 自然資本事業部
原田（はらだ） 壮太朗（そうたろう） さん

人口約1，300人の岡山県北東端に位置する西粟倉村を拠点に、「未来の里山をつくる」というビジョンを掲げる株式会社エーゼログループ。自然資本領域（木材加工、獣肉加工など）、社会資本領域（関係人口創出、高齢者福祉など）、経済資本領域（ローカルベンチャー育成など）の事業を手がけます。今回は、木材加工から排出される樹皮やおが粉を活用し、いちごを栽培する「西粟倉森の学校・自然資本事業部」の原田壮太朗さんにお話を伺いました。

甘みをたっぷりとたくわえた新鮮な完熟いちご

地域の資源を活用する自然資本事業部

自然資本事業部は地域資源の好循環を目指し、木材加工や農業、獣肉加工などを手がけています。こうした取り組みを多くの方に知ってもらいたいという思いから、2022年には複合施設「BASE101%-NISHIAWAKURA-」をオープンしました。この施設では、木材製品の展示販売やレストラン、いちご摘み体験等を楽しむことができ、昨年は約3万人が来場しました。

BASE101%では、エーゼロが生産するいちごやジビエ肉など、地域の農産品を扱ったお料理が楽しめます

木材事業から排出されたおが粉を活用

いちご栽培の取り組みは2020年に開始しました。いちごを栽培する培土には、木材加工の工程で発生する樹皮やおが粉を使用しています。これまでは発生した樹皮やおが粉は業者に販売したのち、バイオマス発電で使用する木質チップなどとして使われていましたが、同社でも地域資源の循環を目指しいちごの培土として活用するようになりました。地域資源の循環を活かした魅力的ないちごを栽培するため試行錯誤を重ねた結果、この培土にたどり着いたそうです。原田さんは**「樹皮やおが粉の培土は、根が空気に触れる面積が大きいため、いちご栽培に適していると考えています」**と言います。農薬も必要最低限の使用にとどめ、天敵である虫を使って害虫を退治する天敵農法を取り入れたり、井戸水を活用したりと自然資本を活用した農業を実践しています。

工場で発生するおが粉

さらに西粟倉村の気候は、昼間と夜間の寒暖差により味が引き締まり糖度が高いいちごが育つそうです。また栽培過程で出る不用となったいちごの葉は、レストランから排出される生ごみと混ぜ堆肥づくりに活用されています。

自然資本を活用した今後の展望

今後の取り組みとして夏のメロン栽培を計画しています。いちご栽培時期は、12月から翌年6月ですが、夏場に同じ栽培施設の有効活用するための新たな試みです。原田さんは**「メロンの栽培にも樹皮やおが粉の培土を使用する予定です」**と、さらなる資源の活用を考えられています。また、こうした取り組みは地域の雇用創出にも繋がります。**「現在、いちご栽培のスタッフの半数は60歳以上の方で、多様な年代の方が活躍しています。メロン栽培を通じて、通年でのさらなる雇用が生まれることを期待しています」**と今後の展望を語られました。

株式会社エーゼログループ
〒707-0504
岡山県英田郡西粟倉村大字長尾461番地1
https://a-zero.group

気になった内容をシェアしよう！ #エーゼログループ #森の経済循環 #完熟いちご #西粟倉森の学校

第11回

イベントレポート

おかやま環境教育ミーティング開催！

世代・団体を超えてうまれた学びやつながりをご紹介

担当者
環境創造部
サステナビリティ推進課
多田 正和

開催日時　2024年9月23日　午前の部（ブース展示）　10:00〜12:00
開催場所　岡山国際交流センター　午後の部（分科会、全体会）　12:30〜16:30

2024年9月23日に開催された第11回おかやま環境教育ミーティングの様子を一部ご紹介します！

総勢参加者 239名
10〜70代以上 幅広い世代の方が多数参加！

ブース展示 出展団体 30団体

アンケート 満足度 9割以上

おかやま環境教育ミーティングとは

このミーティングは、持続可能な社会を目指し、環境教育に関わる人々がつながり、学び合い、協力し合う場を提供しています。岡山県が主催し、学校、企業、行政、NPOなど多種多様な団体が集まるかんきょうひろば※が運営しています。多世代交流を通じて、多様な主体が協働するきっかけづくりを目的としています。

ブース展示（午前）　活動紹介や体験ブースで交流！

シュロの葉で草バッタ作り体験

海ごみ問題に関する取り組み紹介

セネガルで仕立てた衣服販売の取り組み紹介

漂着ごみの中からマイクロプラスチックを探す体験

分科会（午後）　5テーマに分かれて学びと意見交換！

テーマ　海ごみ、気候変動（エネルギー）、エシカル、気候変動（まちづくり）、自然

2050年には魚よりも多くなるといわれている海洋ごみ

世界では毎年約800万トン、そのうち日本からも約2〜6万トンものプラスチックごみが海に流出すると推計される海洋問題。海の生物や人間にも悪影響を及ぼす海洋ごみの増加を防ぐために、私たちができることについて考えました。

気候変動の最新動向を学び、アクションへ！

二酸化炭素濃度の急増や地球温暖化の影響で異常気象が増加している現状や、IPCC報告などの最新動向を学んだうえで、私たちにできることをグループで話し合いました。

全体会（午後）　グループに分かれて1日の振り返り！　学んだことや想いを共有。

参加者の声

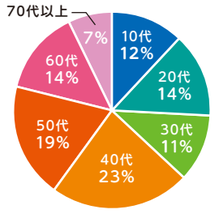
Q 今日一番の収穫だと感じたこと

A 環境問題に関心を持つ人たちと会って、色々話し合えたこと

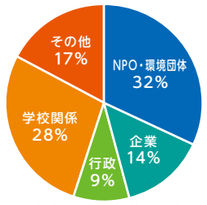
A 新しい視点で環境問題を考えられるようになった

Q 今日の感想

A 様々な世代の方とお互いに学んできたことを共有できて、非常に充実した時間だった。こういう場をきっかけに、環境問題へのアプローチを自分でも見つけ積極的に参加していきたい。



参加者の年代（回答数98）



参加者の所属（回答数98）

※ かんきょうひろばとは　正式名称は岡山県環境学習協働推進広場。より良い環境に恵まれた持続可能な社会の実現に向け、協働による環境学習を進めるため、行政や環境NPO等が協働する場として岡山県が設置・推進しています。

ミーティング特設サイト

気になった内容をシェアしよう！　#おかやま環境教育ミーティング　#協働　#つながり　#かんきょうひろば

TOPICS

岡山県環境保全事業団　総務部

ウェルビーイングな職場づくり

3 すべての人に健康と福祉を　8 働きがいも経済成長も

岡山県環境保全事業団ではウェルビーイングな職場づくりに取り組んでいます！

岡山県環境保全事業団では「人的資源の価値向上とウェルビーイングな職場づくり」を目指し、職員が心身ともに健康で活力を持って働ける環境づくりに取り組んでいます。

その取り組みが評価され、以下の認定を取得しています。

健康経営優良法人2024
「優れた健康経営を実践する法人」として認定！

えるぼし認定（3段階目）
「女性の活躍推進に関する取組状況が優良な企業」として認定！

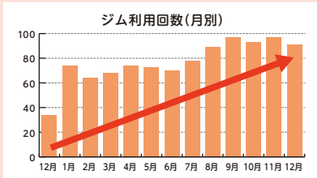
女性が活躍しています！

ウェルビーイングとは、その人にとって最善の状態を指し、心身の満足や幸福度を表す概念のこと。代表的なモデルとして、アメリカの心理学者マーティン・セリグマン博士が提唱したPERMAモデルがあります。

PERMA（パーマ）モデル
- P Positive Emotion ポジティブな感情
- E Engagement 何かへの没頭
- R Ralationship 他者との関係性
- M Meaning 生きる意味
- A Accomplishment 達成

ウェルビーイングに関する新しい取り組みをご紹介！

事業団では、フィットネスジムの法人利用を2023年 12月より開始し、1年間で約 1,000回利用されています。福利厚生として健康増進だけでなく、社内コミュニケーション促進の場にもなっています。



利用数、増えています！

フィットネスジム法人利用とは

ジムの法人利用を福利厚生として導入することにより、職員の健康増進、職員同士のコミュニケーション促進、健康経営の推進を図っています。また、魅力的な福利厚生として採用活動にも活かしています。
職員の利便性を考え、24時間 365日利用可、複数店舗展開しているジムを選択しました。

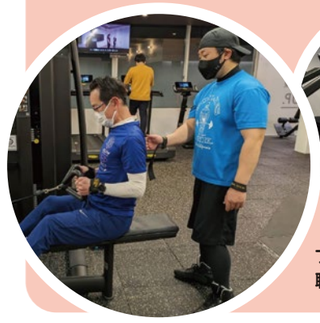
実際に行ってみた！

事業団職員がジムを利用する様子を紹介します！

ジムのトレーナーにサポートしてもらえるので、初心者の方も気軽に行けます。教えてもらえると頑張れます！

ここでしか生まれない熱い交流！

ベテラン職員と若手社員との世代を超えた交流も！



脚にきてます…！

仕事中は交流機会があまりない部署の職員と交流できます！

ここが踏ん張り時！

フィットネスジムは世代を超えたコミュニケーションの場にもなります。
職場の仲間といっしょにフィットネスジムで体を動かそう！

岡山県環境保全事業団　総務部
〒701-0212　岡山市南区内尾665-1　086-298-2122　086-298-2496

健康経営の取り組みについてはこちら　岡山県環境保全事業団

気になった内容をシェアしよう！　#総務部　#ウェルビーイング　#福利厚生　#ジム利用